

2015年2月21日

各位

本店所在地 東京都千代田区麹町2-4
会社名 そーせいグループ株式会社
(コード番号 4565 東証マザーズ)
代表者 代表執行役社長CEO 田村 眞一
問い合わせ先 執行役副社長CFO 虎見 英俊
電話番号 03-5210-3290(代表)

英国ヘプタレス社の株式取得(子会社化)に関するお知らせ

当社は、2015年2月20日(ロンドン時間)開催の取締役会において、英国 Heptares Therapeutics (ヘプタレス・セラピューティクス、英国ハートフォードシャー<www.heptares.com>、以下「ヘプタレス社」)の全株式を取得し連結子会社とすることを決議し、同社の全株式を最大400百万米ドルを対価として取得いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 株式の取得の理由

当社グループにおける現在の主たる収益源は、ノバルティス社に導出しているCOPD 治療薬である「シーブリ」および「ウルティプロ」のマイルストーンおよびロイヤリティ収入ですが、さらなる企業価値の向上を目指すべくパイプラインの強化や新たな事業拡大を図り、この度ヘプタレス社の買収を実施しました。本買収により、当社は「日本発の世界トップバイオ企業になる」というビジョンをより迅速に達成できると期待しております。

ヘプタレス社は、英国のMRC Laboratory of Molecular Biology および National Institute of Medical Research の研究成果を事業化するべく、2007年に設立され、医薬品ターゲットとして期待の大きい、Gタンパク質共役受容体(GPCR)に作用する薬剤を創出する世界で最も進んだ独自の技術(StaR®)を有するバイオ企業です。同社は既に複数の著名な製薬企業との創薬共同研究契約を締結しており、開発の進捗に応じたマイルストーン・ロイヤリティ収入を受領できることになっております。今回の買収により、当社グループの予測する2019年の収益が3倍に近い水準まで伸び、それ以降も持続的に伸張し続けることが期待されます。

当社グループの中長期戦略の実現において Heptares 社は極めて重要な役割を果たし、開発パイプラインの拡充や開発体制、グローバルな開発力、経営体制の強化のみならず、同社のパイプラインが2026年以降の当社グループの収益の柱になると期待しております。

<本買収による当社への貢献>

① COPD 治療薬の特許が切れる 2026 年以降の収益を生み出せるドラッグディスカバリー技術
ヘプタレス社は自社開発のみならず、独自のドラッグディスカバリー技術を基に、ノバルティス社、アストラゼネカ社、武田薬品工業株式会社等の世界トップレベルの製薬企業と提携契約を締結しており、既にマイルストーン収入が発生しております。今後上市に至った場合には当該提携契約によるロイヤリティ収入が、COPD 治療薬の特許切れを迎える 2026 年以降の収益の柱となります。

② 高収益パイプラインの拡充

ヘプタレス社の保有する独自技術は新規医薬品を効率的に多数創出することが可能であり、それらの自社研究開発の推進、または他社への導出を図ることで短期的な収益確保から、長期的な収益基盤の構築まで、網羅的なポートフォリオ戦略が実現可能となります。

<ヘプタレス社のパイプライン>

開発プログラム	適応	開発段階
ムスカリン受容体 M ₁ 作動薬	アルツハイマー病、 認知障害	第 I 相臨床試験
M ₄ or M ₁ /M ₄ デュアル作動薬	統合失調症、 精神障害	前臨床試験
アデノシン受容体 2A 拮抗薬	注意欠如・多動性障害	前臨床試験終了、 IND*申請中
CGRP 受容体拮抗薬	偏頭痛治療および予防	前臨床試験
GPR39 作動薬	糖尿病、膵島 β 細胞保護	前臨床試験
GLP-1 作動薬	糖尿病	前臨床試験

*治験計画届出書

本買収後の当社グループのパイプラインは、上記開発品に加え、ノバルティス社に導出済みの COPD 治療薬「シーブリ」および「ウルティプロ」（欧州、日本等において上市済み、米国において承認申請中）、S0-1105（第Ⅲ相臨床試験中）、および開発早期段階にある 4 品目の、全 13 品目に拡充されます。

③ 開発体制の強化

本買収により、当社の日本での開発ノウハウと実績に加え、欧州と米国でのヘプタレス社のノウハウとネットワークが加わり、開発の体制の強化やそれぞれの地域の医薬品規制への対応能力が強化されることとなります。

また、欧米での開発や商業化の豊かな経験を持つ同社幹部が当社グループの一員として、新しい体制を支えています。

④ ドラッグディスカバリー基盤技術の獲得による、シーズ探索手法の強化

本買収により、当社の子会社である株式会社アクティブスファーマが保有する難溶性低分子医薬品のナノ粉砕化に関する独自の新規製剤技術（APNT）や、2014年12月に子会社化したJITSUBO株式会社が保有している新規のペプチド合成技術（Molecular Hiving™）および新たなペプチド立体構造の改変技術（Peptune™）の新規ペプチド創薬基盤技術に加え、ヘプタレス社保有のドラッグディスカバリー基盤技術（StaR®）を獲得し、今後さらなるパイプラインの拡充とそれによる企業価値の向上が見込まれます。また、基盤技術間のシナジー効果も期待できます。

<統合後のマネジメント体制および組織>

本買収完了後に、当社グループの取締役兼代表執行役社長の田村眞一のもと、ヘプタレス社は当社の子会社として存続し、マルコム・ウェイアが引き続きCEOとして、国際的な研究開発事業を率います。当社グループの社外取締役のデクラン・ドゥーガンおよびピーター・ベインズがヘプタレス社の取締役として当社グループから派遣されます。ヘプタレス社のCEOのマルコム・ウェイアが当社の執行役副社長として就任します。

2. 異動の方法

当社は、ヘプタレス社の株主とのAgreement for the Sales and Purchaseにより2015年2月20日付で既存株主より普通株式21,213,303株を取得し、その対価として180百万米ドルおよびヘプタレス社にて将来発生するマイルストーンまたはロイヤリティ収入の額に応じて支払う条件付き対価最大220百万米ドル、合計最大400百万米ドルを支払います。これにより、ヘプタレス社は当社の連結子会社となります。

3. 異動する子会社の概要

① 名 称	Heptares Therapeutics Ltd.	
② 所 在 地	BioPark, Broadwater Road, Welwyn Garden City, Hertfordshire, AL7 3AX, UK	
③ 代表者の役職・氏名	取締役CEO、マルコム・ウェイア	
④ 事 業 内 容	GPCRの構造解析や初期のリード化合物の創出、独自開発のStaR®技術による候補品探索	
⑤ 資 本 金	38百万円	
⑥ 設 立 年 月 日	2007年6月4日	
⑦ 大株主および持株比率	Clarus Lifescience II, LP	28.0%
	MVM International Life Science Capital Management	27.9%
	Novartis Bioventures Ltd	17.7%
	The Stanley Family Foundation	10.3%
	Takeda Ventures Inc.	5.6%

⑧ 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	該当事項はありません	
	人的関係	該当事項はありません	
	取引関係	該当事項はありません	
⑨ 当該会社の最近3年間の経営成績および財政状態			
決算期	2012年12月期	2013年12月期	2014年12月期
純資産	907百万円	1,674百万円	1,474百万円
総資産	1,555百万円	1,824百万円	1,490百万円
1株当たり純資産	517円	441円	538円
売上高	1,005百万円	1,743百万円	895百万円
営業利益(△損失)	△2,289百万円	△1,046百万円	△2,101百万円
経常利益(△損失)	△1,255百万円	△1,036百万円	△2,092百万円
当期純利益(△損失)	△949百万円	△756百万円	△1,728百万円
1株当たり当期純利益	△846円	△1,062円	△464円
1株当たり配当金	—	—	—

注：1ポンドにつき180円にて換算した金額です。

4. 株式取得の相手先の概要

当社が株式を取得する主要な既存株主の概要は以下の通りです。以下の株主の本取引実行前の株主所有割合は、合計で89.49%です。残り10.51%の株式については、取得の相手先は個人株主となります。この個人株主の希望により、氏名・住所を非公表とさせていただきます。なお、当社との間で記載すべき資本関係、人的関係、取引関係、その他特筆すべき関係はありません。

(1) Clarus Lifescience II, LP

(1) 名称	Clarus Lifescience II, LP
(2) 所在地	101 Main Street, Suite 1210, Cambridge, MA 02142, USA
(3) 設立根拠等	デラウェア州法に基づくリミテッド・パートナーシップ
(4) 組成目的	ヘルスケア業界を中心に投資を行うため
(5) 組成日	2008年2月
(6) 出資の総額	守秘義務により非開示
(7) 出資者・出資比率・出資者の概要	守秘義務により非開示

(8) 業務執行組合員の概要	名 称	Clarus Ventures, LLC
	所 在 地	101 Main Street, Suite 1210, Cambridge, MA 02142, USA
	代 表 者 の 役 職 ・ 氏 名	守秘義務により非開示
	事 業 内 容	ベンチャー・キャピタル投資および運用事業
	資 本 金	守秘義務により非開示
(9) 国内代理人の概要	該当事項はありません	
(10) 上場会社と当該ファンドとの間の関係	上場会社と当該ファンドとの間の関係	当該会社との間には、記載すべき資本関係・人的関係・取引関係はありません
	上場会社と業務執行組合員との間の関係	当該会社との間には、記載すべき資本関係・人的関係・取引関係はありません
	上場会社と国内代理人との間の関係	該当事項はありません

(2) MVM International Life Science Capital Management

(1) 名 称	MVM International Life Science Capital Management (以下4投資組合の総称) ・ MVM International Life Science No.1 Limited Partnership ・ MVM Executive Limited ・ MVM Fund III Co-Investment Limited Partnership ・ MVM Fund III (No.2) Limited Partnership	
(2) 所 在 地	6 Henrietta Street, London WC2E 8PU	
(3) 設 立 根 拠 等	英国法に基づくリミテッド・パートナーシップ	
(4) 組 成 目 的	ヘルスケア業界を中心に投資を行うため	
(5) 組 成 日	2001年10月/2001年10月/2007年5月/2007年5月	
(6) 出 資 の 総 額	守秘義務により非開示	
(7) 出 資 者 ・ 出 資 比 率 ・ 出 資 者 の 概 要	守秘義務により非開示	
(8) 業務執行組合員の概要	名 称	MVM International Life Science No.1 Limited Partnership
	所 在 地	6 Henrietta Street, London WC2E 8PU
	代 表 者 の 役 職 ・ 氏 名	守秘義務により非開示
	事 業 内 容	ベンチャー・キャピタル投資および運用事業
	資 本 金	守秘義務により非開示

(9)	国内代理人の概要	該当事項はありません	
(10)	上場会社と当該ファンドとの間の関係	上場会社と当該ファンドとの間の関係	当該会社との間には、記載すべき資本関係・人的関係・取引関係はありません
		上場会社と業務執行組合員との間の関係	当該会社との間には、記載すべき資本関係・人的関係・取引関係はありません
		上場会社と国内代理人との間の関係	該当事項はありません

(3) Novartis Bioventures Ltd

(1)	名 称	Novartis Bioventures Ltd	
(2)	所 在 地	131 Front Street, Hamilton HM12, Bermuda	
(3)	設 立 根 拠 等	バミューダ諸島法に基づくリミテッド・パートナーシップ	
(4)	組 成 目 的	バイオテック、ヘルスケア業界を中心に投資を行うため	
(5)	組 成 日	2001年1月	
(6)	出 資 の 総 額	守秘義務により非開示	
(7)	出 資 者 ・ 出 資 比 率 ・ 出 資 者 の 概 要	守秘義務により非開示	
(8)	業務執行組合員の概要	名 称	Novartis Bioventures Ltd
		所 在 地	131 Front Street, Hamilton HM12, Bermuda
		代 表 者 の 役 職 ・ 氏 名	守秘義務により非開示
		事 業 内 容	ベンチャー・キャピタル投資および運用事業
		資 本 金	守秘義務により非開示
(9)	国内代理人の概要	該当事項はありません	
(10)	上場会社と当該ファンドとの間の関係	上場会社と当該ファンドとの間の関係	当該会社との間には、記載すべき資本関係・人的関係・取引関係はありません
		上場会社と業務執行組合員との間の関係	当該会社との間には、記載すべき資本関係・人的関係・取引関係はありません
		上場会社と国内代理人との間の関係	該当事項はありません

(4) The Stanley Family Foundation

(1)	名 称	The Stanley Family Foundation	
(2)	所 在 地	47 Richards Avenue, Norwalk, CT 06847, USA	
(3)	設 立 根 拠 等	コネチカット州法に基づくチャリタブルトラスト (慈善信託)	
(4)	組 成 目 的	精神疾患領域のバイオテックを中心に投資を行うため	
(5)	組 成 日	1986年8月	
(6)	出 資 の 総 額	守秘義務により非開示	
(7)	出 資 者 ・ 出 資 比 率 ・ 出 資 者 の 概 要	守秘義務により非開示	
(8)	業 務 執 行 組 合 員 の 概 要	名 称	The Stanley Family Foundation
		所 在 地	47 Richards Avenue, Norwalk, CT 06847, USA
		代 表 者 の 役 職 ・ 氏 名	守秘義務により非開示
		事 業 内 容	ベンチャー・キャピタル投資および運用事業
		資 本 金	守秘義務により非開示
(9)	国 内 代 理 人 の 概 要	該当事項はありません	
(10)	上 場 会 社 と 当 該 フ ァ ン ド と の 間 の 関 係	上 場 会 社 と 当 該 フ ァ ン ド と の 間 の 関 係	当該会社との間には、記載すべき資本関係・人的関係・ 取引関係はありません
		上 場 会 社 と 業 務 執 行 組 合 員 と の 間 の 関 係	当該会社との間には、記載すべき資本関係・人的関係・ 取引関係はありません
		上 場 会 社 と 国 内 代 理 人 と の 間 の 関 係	該当事項はありません

(5) Takeda Ventures Inc.

(1)	名 称	Takeda Ventures Inc.
(2)	所 在 地	435 Tasso Street, Suite 300, Palo Alto, CA 94301, USA
(3)	設 立 根 拠 等	デラウエア州法に基づく特例リミテッド・パートナーシップ
(4)	組 成 目 的	ヘルスケア業界を中心に投資を行うため
(5)	組 成 日	2001年11月
(6)	出 資 の 総 額	守秘義務により非開示
(7)	出 資 者 ・ 出 資 比 率 ・ 出 資 者 の 概 要	守秘義務により非開示

(8) 業務執行組合員の概要	名 称	Takeda Ventures Inc.
	所 在 地	435 Tasso Street, Suite 300, Palo Alto, CA 94301, USA
	代 表 者 の 役 職 ・ 氏 名	守秘義務により非開示
	事 業 内 容	ベンチャー・キャピタル投資および運用事業
	資 本 金	守秘義務により非開示
(9) 国内代理人の概要	該当事項はありません	
(10) 上場会社と当該 ファンドとの間の関係	上場会社と 当該ファンド との間の関係	当該会社との間には、記載すべき資本関係・人的関係・ 取引関係はありません
	上場会社と業 務執行組合員 との間の関係	当該会社との間には、記載すべき資本関係・人的関係・ 取引関係はありません
	上場会社と 国内代理人 との間の関係	該当事項はありません

5. 取得株式数, 取得価額および取得前後の所有株式の状況

① 異動前の所有株式数	0 株 (議決権の数 : 0 個) (議決権所有割合 : 0%)
② 取得株式数	21,213,303 株 (議決権の数 : 21,213,303 個)
③ 取得価額	<p>既存株主からの株式取得費用 21,359 百万円 (180 百万米ドル)</p> <p>アドバイザー費用等(概算額) 712 百万円 (6 百万米ドル)</p> <p>合計 22,071 百万円 (186 百万米ドル)</p> <p>※ 1 ドルにつき 118.66 円にて換算しております。</p> <p>※ 上記の他、ヘプタレス社にて将来発生するマイルストーンまたはロイヤリティ収入の額に応じて支払う条件付き対価最大 220 百万米ドルが発生する見込みです。</p>
④ 異動後の所有株式数	21,213,303 株 (議決権の数 : 21,213,303 個) (議決権所有割合 : 100%)

6. 日 程

① 取締役会決議日	2015年2月20日（ロンドン時間）
② 契約締結日	2015年2月20日
③ 株式取得実行日	2015年2月20日

7. 今後の見通し

本件株式取得が通期連結業績に与える影響は現在精査中であり、詳細が確定次第、改めてお知らせいたします。

以 上

【参考】当期連結業績予想（2014年6月25日公表分）および前期連結実績

（単位：百万円）

	売上収益	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益
当期連結業績予想 (平成27年3月期)	3,300	2,000	2,000	—	2,000
前期連結実績 (平成26年3月期)	2,069	756	737	1,526	1,526

【備考】

Gタンパク質共役受容体（GPCR：G-Protein Coupled Receptor）について

受容体とは、細胞膜表面、細胞質、または核内に分布し、細胞外からの刺激を認識、伝達し、細胞内の反応を誘起するタンパク質をいいます。その受容体と、受容体に結合する物質の組み合わせにより細胞の起こす反応が異なり、この仕組みを解明することが創薬のカギとなります。

GPCRとは、受容体の一種で細胞膜を7回貫通する構造を有するタンパク質をいいます。ヒトのGPCRは約800種あると言われてはいますが、薬のターゲットになるのはそのうちの約370種くらいであり、さらにこのうち約150種のGPCRは、結合する生理活性物質が分からず、「オーファン受容体」と呼ばれ、新たな創薬ターゲットとして注目されております。

StaR®技術について

GPCRは、薬物治療上、最も重要な標的分子であるにもかかわらず、細胞膜から抽出されると分子構造が不安定となるため、その構造は未だほとんど解明されておらず、立体構造に基づく創薬研究は難しいとされてきました。ヘプタレス社のStaR®技術は、世界で初めて熱力学的に安定化したGPCRを作成させることに成功しました。この画期的な技術により、これまで薬物治療標的分子としては難しいとされてきたGPCRの構造解析が進み、分子構造設計に基づいた強力かつ選択性の高い候補物質の創製が可能となります。